

政治経済学・制度分析

Political Economy, Institutional Economics

藤田真哉

Shinya FUJITA

研究紹介

1. 各国固有の社会制度（とりわけ労使関係制度）や経済政策が構造変化と経済成長に与える効果を、ケインズ派やレギュラシオン派のマクロ経済モデルを用いて分析しています。
2. 所得分配に影響を与える制度的・政策的諸要因を理論的・実証的に分析しています。
3. アンケート調査やヒアリング調査によって、企業の研究開発活動やイノベーションを規定する諸要因を分析しています。

ゼミ紹介

現在は、修士課程に2名（うち社会人院生1名）、博士課程に1名が在籍しています。これまでの研究テーマは、環境政策が経済成長に与える影響に関する理論的研究、日本におけるラディカル・イノベーション戦略、外国籍の高度技能人材の活用方法、二重労働市場が所得格差に与える効果に関する実証研究など多岐にわたっています。

キーワード

Demand-led growth, Structural change, Income inequality, Innovation policy, Functional income distribution, Theory of pricing, Financial fragility, Post-Keynesian economics, Kaleckian model, French régulation approach, Varieties of capitalism, Comparative political economy



ワルシャワ、コペルニクス像前にて